

こんにちわ

えべつFUROSHIKI

プロジェクト

風呂敷を持つ人が増えると
街が優しくなるんじゃないか——

風呂敷にはそんな優しい力がある。



えべつFUROSHIKIプロジェクトのメンバー。
右から湯澤直樹准教授、森戸裕子さん、菅野陽香さん。



セラミックアートセンターロビーに展示されている風呂敷。497枚の力作が並ぶ。

えべつ FURUSHIKI

プロジェクトとは、おしゃれなデザインで風呂敷を見直してもらおうという企画です。年に1回開催するえべつFURUSHIKI K1フェアスティバルでは、募集したデザインを風呂敷に仕立てて展示し、来場者の人気投票によって優秀作品を選びます。

また、風呂敷を使ったファッションショーや風呂敷の包み方教室など風呂敷の魅力満載のイベントも開催されます。

この

プロジェクトは、北翔大学短期大学部人間総合学科の湯澤直樹准教授がゼミ生の発案を受けて5年前から始めた試みで、当初の目的は、地域を盛り上げ、シャッター通りとなっている商店街を活気づける地域振興でした。

風呂敷

は一枚の布プルなものでありながら、結び方を工夫することによって、どんなモノも包んで運べて、しかも繰り返し使うことができます。

日本独自の文化である「もったいない」精神を具現化して、過剰包装などの問題への解決策のひとつとしても世界的に注目を集めています。

江別

で風呂敷を持つ人が増えると街が優しくなるんじゃないか、風呂敷にはそんな優しい力があると思ふと湯澤准教授は言います。現在、セラミックアートセンターロビーにて作品を展示中で、2月12日(日)に表彰式が行われる風呂敷の祭典。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。風呂敷の魅力が再発見するよい機会に



風呂敷の結び方を実演する湯澤准教授。

えべつFUROSHIKI フェスティバル ～えべつ風呂敷オンステージ～

現在セラミックアートセンターロビーにて展示されている風呂敷の人気投票結果の発表や風呂敷の包み方教室、風呂敷を使ったファッションショーが行われます。無料。

日時 2月12日(日) 13:00

会場 セラミックアートセンターロビー



なるかもしれません。

【詳細】えべつFURUSHIKI
プロジェクト事務局(湯澤直樹研究室)
☎387-3967